

令和 7 年度 事業計画書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

事業の概要

1. 奨学給付費

(1) 奨学金

330,000,000 円

日本国内の大学及び大学院で医学、薬学、生物学、栄養学、体育学及び経営学の分野を専攻する有能な外国人留学生（学部生、大学院生）に対して奨学金を給付する。

募集対象国は制限を設けず、全世界を対象としている。

また、筑波大学よりウクライナからの避難学生支援の要望を受け、緊急支援として奨学金を給付する。緊急支援の要望のある他の大学からも推薦を受け付ける。

募集方法	人数
①直接応募	約 90人
②大学推薦	約 100人
③緊急支援	約 10人
合 計	約 200人

- (注) ① ホームページ等で募集要項を公開し、留学生本人から当財団への直接応募を受け付ける。
- ② 留学生在籍状況及び奨学生採用実績等に基づき複数の大学に推薦を依頼し、担当部署を通じて奨学生候補者の推薦を受け付ける。また、医学・薬学等に関連する分野に広く対象を拡大し、該当分野に秀でた複数の大学に推薦を依頼する。
- ③ 大規模災害、紛争による避難など緊急支援が必要な場合で、理事会が特に認めたときは、受入機関である大学を通じて奨学生候補者の推薦を受け付ける。

いずれの方法においても、選考委員による書類選考・面接及び選考委員会の審議を経て、理事会で採用を決定する。

(2) 図書費

1,900,000 円

奨学事業の拡大の一環として、採用された奨学生を対象に書籍及び視聴覚資料を購入するための図書費を給付する。図書の内容としては、奨学生のニーズが高く指導に資するもの、日本と各国の国際理解に役立つものを推奨する。

2. 奨学生指導費

80,000,000 円

採用された奨学生を対象に奨学金目録授与式を行い、役員、評議員及び選考委員が出席して奨学生を激励する。

大塚グループの研究所及び製造工場の視察並びに交流会等の実施により、奨学生を指導する。

3. その他目的を達成するために必要な事業費

63,990,000 円

奨学事業のための選考委員会開催に関わる費用、選考業務にかかる人件費等の費用及び通信運搬費等

合計 475,890,000 円